

9	生活文化スポーツ局	ボランティア活動の推進
事業概要	<p>1 事業目的 ボランティア活動が文化として定着し、都民一人ひとりが互いに支え合う共助社会の実現</p> <p>2 事業概要 平成28年2月に策定した「共助社会づくりを進めるための東京都指針」に基づき、「多くの人の参加意欲を高める」「活動しやすい環境を整備する」「多様な主体が集積する東京の特性を活用する」という視点から、共助社会実現に向けた取組を実施</p>	
これまでの経過	<p>学識経験者、ボランティア団体、中間支援組織関係者等を委員とする「共助社会づくりを進めるための検討会」における検討を踏まえ、平成28年2月に「共助社会づくりを進めるための東京都指針」を策定し、平成28年度から同指針に基づく事業を実施している。また、都内のボランティア活動の実態を把握するため、都民や企業等の団体を対象に都民等のボランティア活動等に関する実態調査を実施している。令和元年度には、「共助社会づくりを進めるための検討会」において、東京2020大会を契機としたボランティア文化の定着に向けた新たな仕組みについて検討を行った。</p>	
現在の進行状況	<p>1 多くの人の参加意欲を高める取組 東京2020大会ボランティアの活動継続・拡大等を推進するため、東京都つながり創生財団を事務局として「東京ボランティアレガシーネットワーク」を運営 ボランティア文化の定着を図るため、ボランティアの多様な魅力を発信する「つながる!!Tokyo ボランティアフェスタ」や「ボランティアを応援するセミナー」を開催 プロスポーツクラブや地域のボランティアセンターとの連携イベントの開催等により、人々に広くボランティアの魅力を発信</p> <p>2 活動しやすい環境を整備する取組 東京ボランティア・市民活動センターを支援することで、ウェブサイト「ボラ市民ウェブ」を通じたボランティア・市民活動に資する情報の発信や、コーディネーターの養成講座等を実施</p> <p>3 多様な主体が集積する東京の特性を活用する取組 東京ボランティア・市民活動センターと連携し、大学のボランティアセンター等を支援するシンポジウムを開催</p> <p>4 その他の取組 都民のボランティア活動の実態に関する調査を実施</p>	
今後の見通し	<p>1 多くの人の参加意欲を高める取組 東京都つながり創生財団と連携し、「東京ボランティアレガシーネットワーク」を通じた情報発信等を実施するとともに、ボランティア文化を定着させるためのイベントやセミナー等を企画実施していく</p> <p>2 活動しやすい環境を整備する取組 引き続き東京ボランティア・市民活動センターを支援していくとともに、東京都つながり創生財団や都内の中間支援組織等と連携して「東京ボランティアレガシーネットワーク」のウェブシステムを運営し、ボランティア活動の継続・拡大を推進していく</p>	
問合せ先	生活文化スポーツ局 都民生活部 地域活動推進課	電話 03-5388-3156